

静岡県内自治体の「公民連携・協働」事例集



平成 28 年度

行政経営研究会「公民連携・協働」部会

はじめに

本事例集は、行政経営研究会 公民連携・協働部会が作成した。当部会は、平成 26 年 4 月の行政経営研究会の設置から間もない同年 8 月、同研究会を構成する 1 部会としてスタートした。部会のテーマは 2 つあり、1 つは NPO や住民、民間事業者との協働推進である「業務協働」、もう 1 つが指定管理に代表される施設運営において民間事業者の活用を図る「施設民活」である。そして、この 2 つのテーマを研究し、県全体で一体的な取組の推進を図ることが当部会の目的である。

設置初年の平成 26 年度は基礎的な研究に注力し、協働に関する概念の整理、協働関係先リストの作成、事例発表等を行った。

平成 27 年度は、これらの研究結果を踏まえ、業務協働の分野では「協働効果測定手法の開発」及び「協働先進事例マニュアルの作成」、施設民活では、指定管理者の応募者を拡大することを目的とした「民間事業者等への施設紹介フェア」を開催する等、部会の取組が具体化し、また着実に進んでいる。

平成 28 年度は、業務協働の分野では「協働効果測定手法の開発」を継続して行うとともに「協働効果測定手法の開発」報告書及び「協働先進事例マニュアルの作成」報告書をベースに、これまでの業務協働の成果をとりまとめた書籍『パートナーシップが創るこれからの地方自治』を出版した。施設民活では、引き続き「民間事業者等への施設紹介フェア」を開催したほか、静岡県「指定管理者制度の手引」の改訂等、具体的な施策への展開を図っている。

本事例集は、平成 26 年度に取組んだ基礎的な研究の過程で、「業務協働」「施設民活」の幅広い事例を当部会の全ての参加者が共有し、また優れた事例を自らの自治体でも取組むことができるよう、平成 27 年 2 月に作成・公表し、今回が 2 回目の改訂となる。今回の改訂では、更なる事例提供をいただき、30 の新たな事例を追加した。これまで以上に、県内各地域の協働推進の一助となることを期待するものであり、不明な点があれば記載した連絡先に積極的に問い合わせをいただければと考える。

最後に、事例提供をいただいた市町及び県庁内各部局の皆様には感謝を申し上げますとともに、引き続き、よりよい事例があれば積極的な情報提供をお願いしたい。

平成 29 年 3 月
行政経営研究会 公民連携・協働部会長
静岡県経営管理部職員局 行政改革課長

目 次

1 優良事例大賞・優良事例賞を受賞した取組

手 法	件 名	自治体名	H28	頁
優良事例大賞・優良事例賞を受賞した取組				8
【1】住民参加	川根本町高齢者宅配サービス	川根本町		10
【2】提案型事業	障がい者が活躍する学校ネットパトロール事業 ～就労支援プログラムとしての可能性を探る～ (協働パイロット事業 実施団体名：パソコンわかばくらぶ)	静岡市		13
【1】住民参加	牧之原市地域の絆づくり事業	牧之原市		15

2 業務一般における公民連携・協働

【1】住民参加

件 名	自治体名	H28	頁
協働のまちづくり人材育成講座	沼津市		23
J R 三島駅南口里親制度 (アダプトプログラム)	三島市	修正	24
健康マイレージ事業	三島市	修正	26
シニア向けタブレット講習会の開催	三島市	新	27
親と子のスマホ・SNS安心情報ネットワーク会議	三島市	新	28
トレッキングコース作り	磐田市		30
生まれかわった深田川 (市民協働による河川美化活動)	掛川市		31
いのちを守る「希望の森づくり」プロジェクト	掛川市		32
ディーセントライフ事業	藤枝市	修正	34
裾野市パートナーシップ事業補助金	裾野市	修正	35
裾野市きれいなまちづくり推進事業	裾野市	修正	36
TNR 活動及び地域猫活動	裾野市		37
裾野市パノラマロードを花でいっぱいにする会	裾野市	修正	38
生涯学習センター市民提案型教養講座の提案募集及び開催	裾野市	新	40
花工場による緑化推進～市民の力で花いっぱい！～	袋井市	修正	41
市民ブロガーの育成	袋井市	新	43
新たな地域づくり (地域づくり協議会の設立) 制度	伊豆市	修正	44
千葉大学院生によるフィールドワーク in 伊豆市	伊豆市		47
子育て応援つながる環境づくり事業	島田市	新	50
島田市地域高齢者見守りネットワークづくり事業	島田市	新	52
神山自然公園整備事業	御殿場市	新	53
藤枝市まち美化里親事業 (アダプトプログラム)	藤枝市	新	55

藤枝市まちづくり総合事業補助事業	藤枝市	新	56
松崎町まちづくりやろぅじゃ協議会	松崎町		57
伊豆半島太鼓フェスティバル	松崎町		58
伊豆文邸管理	松崎町		59
花の三聖苑 かじかの湯 運営管理	松崎町		60
世界でいちばん富士山がきれいに見える町宣言	松崎町		61
松崎海岸・旧港美化活動	松崎町		62
西伊豆町まちづくり協議会	西伊豆町		63
健康マイレージ事業 健康チャレンジしみずGO!50!	清水町		64
清水町地域通貨 ゆうすいポイント	清水町	新	65
住民参加による5つの小学校区における地域別計画 (金太郎計画2020)の策定	小山町		67
「木の駅かわね」事業	川根本町		71
ふじのくにづくり学生研究会	県行政改革課	修正	73
大学生との協働による地域コミュニティ活動の啓発イベント実施	県自治行政課		75
「世界標準 浜名湖プロジェクト」事業	県西部地域政策局	修正	76
ぼぼん・プロジェクト	県県民生活課	修正	78
希少野生動植物保護監視員 (ヤリタナゴ)	県自然保護課		80
森づくり県民大作戦	県環境ふれあい課		81
地域猫対策	県御殿場健康福祉 センター	修正	82
地域住民による森林整備プランづくり	県富士農林事務所 森林整備課	修正	85
富士市大淵笹葉地域における美しい茶園でつながるプロジェクト事業	県富士農林事務所 地域振興課	新	87
猪之頭わくわくプロジェクト推進協議会設立	県富士農林事務所 農村整備課	新	89
協働の底力。現地見学ツアーくるまざ会	県建設技術監理 センター	修正	92
協働の底力。地域づくり発表会 (協働事例発表会)	県建設技術監理 センター	修正	96
静岡県景観賞	県景観まちづくり課	修正	99
松崎高校の生徒によるなまこ壁クリーニング活動	県景観まちづくり課	修正	100
地域参加型の景観形成体験モニターツアー	県景観まちづくり課		101
官民協働による麻機遊水地フェスタの開催	県静岡土木事務所	修正	102
御前崎港内の緑地公園 (エコパーク) における環境保全・美化活動	県御前崎港管理 事務所	修正	105

ふじのくに田子の浦みなと公園における公園整備計画参加、環境保全・美化運動	県田子の浦港管理事務所	新	107
体験活動を通じた少年の立ち直り支援活動	県警本部		109
NPO 法人 森と水辺を育てる会（リバーフレンドシップ）	協働ナビより		110
浮島地区環境保全推進会 × 中日本高速道路（株） （ふじのくに美農里プロジェクト・一社一村しずおか運動）	協働ナビより		111
倉真まちづくり委員会（県道拡幅整備事業）	協働ナビより		113

【2】提案型事業

件名	自治体名	H28	区分
地域猫活動モデル地区支援事業 （協働パイロット事業 実施団体名：キャットレスキュー静岡ねこの会）	静岡市		114
野良猫の「TNR活動」及び「地域猫活動」推進事業 （協働パイロット事業 実施団体名：サークルOPPO）	静岡市		116
浜松市中山間地域まちづくり事業	浜松市		118
NPO等市民活動促進事業	富士宮市	修正	119
「いとう創造大賞」（協働事業提案募集）	伊東市	修正	120
富士市市民協働事業提案制度	富士市	修正	121
大淵笹場地区保全活用事業（市民協働事業 試行実施） （実施団体名：大淵地区まちづくり協議会）	富士市	修正	122
姉妹都市オーシャンサイド市との交流事業の促進 （市民協働事業 試行実施） （実施団体名：富士・オーシャンサイド友好市民の会）	富士市	修正	123
生活保護世帯及び生活困窮世帯の子どもに対する学習支援	富士市	新	124
市有林内に放置された間伐材の有効活用について	富士市	新	125
潜在保育士・幼稚園教諭就職支援研修事業	富士市	新	127
いわた防災ママプロジェクト ～体験を通じた母親の防災力向上事業～	磐田市		129
神山城址公園整備事業	御殿場市		131
お菓子のデザインコンテスト「富士山をお菓子にしてみませんか」	御殿場市	新	133
裾野市市民活動センター運営委託	裾野市	修正	134
伊豆の国市市民提案型パートナーシップ事業	伊豆の国市	修正	135
みんなで創るふじのくにプロジェクト（協働提案制度）	県行政改革課	修正	136
性に関するピアカウンセラー養成講座	県教委社会教育課		138
コンビニエンスストアと県立高校との連携	県教委高校教育課		139

【3】事業協力・連携

件名	自治体名	H28	ページ
健康づくり協定等の締結による連携事業	三島市		140
家庭文庫（てんとうむし文庫）との連携	三島市	修正	141
雑誌スポンサー制度	島田市		142
窓口番号案内表示機による情報提供事業	島田市	修正	143
島田市子育てガイドブック“しまいく”協働発行	島田市	新	144
シニアトレーニンググループ開放事業とげんきアップシニアサポーター養成講座の協働実施	島田市	新	146
伊豆下田サマーフェスタ	下田市	修正	147
まちづくり活動補助事業（焼津市市民公益活動事業費補助金）	焼津市	修正	148
地域健康医療支援センター「ふくしあ」の官民協働による地域包括ケアシステム	掛川市		149
「魅力ある東山路」づくりから始まる観光ハブ都市御殿場市	御殿場市		151
伊豆市産業振興協議会の設立	伊豆市	新	153
地方公共団体連携型広域展示販売・商談会事業に係る事業支援	伊豆市	新	154
IT企業誘致計画	伊豆市	新	155
自治体間連携による移住定住施策	南伊豆町		157
自治体間連携による特別養護老人ホーム建設	南伊豆町		158
函南町ホームスタート事業 ～住民ボランティアとの協働による家庭訪問型子育て支援事業～	函南町		159
フェイスブック「静岡未来」の運営	県広聴広報課		161
ふじのくにNPO活動基金	県県民生活課		162
南アルプス高山植物保護対策事業	県自然保護課		164
自然環境保全地域（桶ヶ谷沼）の保全対策	県自然保護課		165
富士山ごみ減量大作戦	県自然保護課		166
環境教育ネットワークの構築及び環境学習フェスティバルの開催	県環境政策課		167
「富士山万葉集」出張授業	県富士山世界遺産課	新	168
ふじのくに子ども観光大使にかかる活動	県観光政策課	新	170
「居場所」づくりにかかる連携事業	県長寿政策課		172
県民げんき・元気事業	県健康増進課		174
企業におけるふじ33プログラム実践教室の開催	県健康増進課	修正	175
健康マイレージ事業における民間企業との連携	県健康増進課	修正	177
大学生との連携による薬物乱用防止啓発事業	県薬事課	新	179
県民げんき・元気事業 文学ガイドと行く伊豆文学ウォーキング	県東部健康福祉センター		180
県民げんき・元気事業	県東部健康福祉		182

県民げんき・元気ウォーク in 三島	センター		
県民げんき・元気事業 みしま健幸満喫『箱根西麓ノルディック』と中心市街地『健幸ウォーク』	県東部健康福祉 センター		184
県民げんき・元気事業 県民げんき・元気ウォーキング in ぬまづ	県東部健康福祉 センター		186
壮年元気盛りもり事業 「かなみミルクウォーキング in 丹那盆地」	県東部健康福祉 センター	修正	188
働き盛りに食べてほしい！「地産地食の野菜レシピ集」の作成	県東部健康福祉 センター	新	190
地域における受動喫煙防止対策	県御殿場健康福祉 センター	修正	191
大学との協働で学生と県民を交えた人権講演会開催	県中部健康福祉 センター	修正	192
「おいしい志太榛原いただきます！」プロジェクト	県中部健康福祉 センター	修正	193
児童福祉施設退所児の就業支援	県三方原学園		195
東京オリンピック・パラリンピックの競技施設に天竜材（FSC 材）を採用してもらうための地域連携（木材生産業、製材・流通業、行政（国・県・市））	県西部農林事務所 天竜農林局森林整備課		197
家庭教育支援等に関する提携協定の締結による連携事業	県教委社会教育課		199
ネットの安全・安心利用に関する連携事業「小・中学校ケータイ講座」	県教委社会教育課		200
困難を有する子ども・若者支援のための合同相談会	県教委社会教育課		201
静岡県読み聞かせネットワークとの連携	県立中央図書館		202
草薙龍勢保存会との連携	県立中央図書館		203
日本大学短期大学部食物栄養学科・専攻科食物栄養専攻 × 農事組合法人伊豆月ヶ瀬梅組合（一社一村しずおか運動）	協働により		204
熱海市観光まちづくり・防災まちづくり推進協議会	協働により		206

【4】 その他

件 名	自治体名	H28	シ
焼津市市民活動交流センター運営事業	焼津市	修正	211
伊豆市合同就職面接会	伊豆市		212
ニホンジカ低密度化政策により捕獲したシカ肉の有効利用	伊豆市	新	214
災害協定締結事業者	清水町		215
若年層向け協働型県政体験・発信組織事務局運営事業	県広聴広報課	修正	216
伊豆のおもてなしと景観向上の取り組み“下田まちなかりフレッシュ作戦”	県下田土木事務所	新	217

3 施設における民間能力活用

【1】指定管理

件名	自治体名	H28	頁
清水駅東地区文化施設整備及び維持管理・運営事業	静岡市		219
指定管理者制度の運用見直し (掛川城エリアの指定管理者選定事例)	掛川市		221
複合運動施設の管理運営	湖西市	新	223
町有 12 施設の一括指定管理制度の導入	西伊豆町		224
清水町温水プール管理運営	清水町		225
清水町福祉センター管理運営	清水町		226
清水町総合運動公園、清水町球技場(野球場、外原テニスコート)管理運営	清水町		227
会館等の管理運営	吉田町	修正	228
静岡県及び沼津市の連携による指定管理者制度の導入	県観光政策課	修正	230
健康づくり施設の管理運営事業	県健康増進課	修正	233
水産技術研究所浜名湖分場体験学習施設「ウォット」運営事業	県研究開発課	修正	235
スポーツ施設管理運営	県スポーツ振興課	修正	236
静岡県立三ヶ日青年の家の管理運営	県教委社会教育課		237
静岡県立朝霧野外活動センターの管理運営	県教委社会教育課		238

【2】PFI

件名	自治体名	H28	頁
南部学校給食センター建替整備等事業	静岡市		239

【3】コンセッション(検討中)

件名	自治体名	H28	頁
富士山静岡空港への公共施設等運営権制度の導入に向けた取組	県空港政策課	修正	241

【4】その他

件名	自治体名	H28	頁
民間企業への無償貸付によるキャンプ場経営	掛川市	新	244

《参考1》静岡県の基盤整備関係の協働事例は「しずおか地域づくり協働ナビ」参照
(HPアドレス：<http://www.shiz-kyoudou-navi.jp/>)

《参考2》本事例集の掲載区分(今回改訂後)

	業務協働	施設民活	計
市町	73	10	83
県	58	7	65
計	131	17	148

1 優良事例大賞・優良事例賞を受賞した取組

本事例集は、行政経営研究会 公民連携・協働部会が県内市町、県庁内の関係各課から事例提供をいただき、また交通基盤部建設技術監理センターが整備する「しずおか地域づくり協働ナビ」の事例を一部追加し、平成27年2月に完成・公表した。

皆様から大変優良な事例を御提供いただいたことから、その事例を広く共有することを目的として、市町41事例から特に優良な事例を選定することとした。

選定に当たっては、公民連携・協働部会の市町担当課による1次投票と行政経営研究会本会構成員（各市町総務・企画部長相当職）による2次投票の2段階方式とし、優良事例大賞1件、優良事例賞2件を選び、表彰を行った。

(1) 1次投票

○本事例集のうち市町41事例の中から優良と考える3事例の投票を依頼

- ・ 期 間：平成27年4月16日～30日
- ・ 投票方法：県内35市町の公民連携・協働部会担当課にメールでの回答を依頼
- ・ 備 考：協働の現場に近い担当者の意見を踏まえた投票を提案

投票にあたって以下の視点を提案

評価の視点	内容
住民ニーズ	多様化する住民ニーズに対し、キメ細やかで適切な対応が実現
効率化	行政単独の実施と比べ、コスト面等で効率化が実現
連携	他市町や県との連携が行われている、または今後の連携可能性がある
汎用性	他市町のモデルとなる取組である
独創性・先駆性	着眼点がよく、独創性に富み、先駆性が高い
努力度	協働実現の上で、関係者との調整等に努めている

○事例投票の結果

順位	票数	市町名	事例	区分
1位	11票	牧之原市	地域の絆づくり事業	業務協働
2位	8票	静岡市	障がい者が活躍する学校ネットパトロール	業務協働
		川根本町	川根本町高齢者宅配サービス	業務協働
4位	7票	掛川市	掛川城エリアの指定管理者選定事例	施設民活
		西伊豆町	町有12施設の一括管理制度の導入	施設民活
6位	5票	藤枝市	ディーセントライフ事業	業務協働
		袋井市	花工場による緑化推進～市民の力で花いっぱい！～	業務協働
		函南町	函南町ホームスタート事業	業務協働
9位	4票	伊豆市	新たな地域づくり制度（地域づくり協議会の設立）	業務協働
		御殿場市	神山城址公園整備事業	業務協働
		島田市	雑誌スポンサー制度	業務協働
		掛川市	地域健康医療支援センター「ふくしあ」の官民協働による地域包括ケアシステム	業務協働
		御殿場市	「魅力ある東山路づくり」から始まる観光ハブ都市御殿場市	業務協働

(2) 2次投票

- 平成 27 年度行政経営研究会 本会（平成 27 年 5 月 28 日（木）開催）において、1 次投票で上位 3 位までの事例について、市町担当によるプレゼンテーションを実施。同研究会構成員（会長、副会長ほか、各市町総務・企画部長相当職）がより優良と考える事例に 1 票を投じ、優良事例大賞を選定。
- 投票の結果、川根本町「川根本町高齢者宅配サービス」が 43 票中 21 票を獲得し、選出。なお、投票時に構成員からいただいた御意見は各事例の最後に掲載する。

受賞	市町名	タイトル	概要
優良事例大賞	川根本町	川根本町高齢者宅配サービス	高齢者独居世帯等に対し、子育て中の女性が配達員となり、子供と一緒に弁当や日用品等を配達。高齢者の日常生活を見守る。
優良事例賞	静岡市	障がい者が活躍する学校ネットパトロール	障がい者がネットパトロール員となり、学校の有害情報を巡視し、学校に報告。教員のスキルアップの他、障がい者の社会参画の足がかりに。
	牧之原市	地域の絆づくり事業	10の小学校区別に結成した地区自治推進協議会において津波防災まちづくり計画や地区まちづくり計画を策定

○平成 27 年度行政経営研究会の様子



優良事例大賞 川根本町 堤 行政改革室長



優良事例賞 静岡市 市民自治推進課 長田主幹



優良事例賞 牧之原市 加藤政策創生専門監



行政経営研究会会長より表彰。当日の様子

【1】優良事例大賞

自治体名	川根本町	課名	総務課
年度		連絡先	0547-56-2220
件名	川根本町高齢者宅配サービス		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他（ ）		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ その他（ ）		
対象	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他（ ）		
他地方公共団体との連携	あり（連携先： ） ・ なし		
目的・事業概要	<p>町内の高齢者独居世帯などに対して弁当（1日1食）や日用品、必要な情報などを届け、高齢者の日常生活を見守り、自立して生活できる環境を整備する。</p> <p>NPO法人「かわね来風（らいふ）」の自主事業である「ママ宅プロジェクト」では、地域の子育て中の女性が配達員となり、子どもと一緒に高齢者世帯を訪問して交流・見守り活動を行っている。町が実施している高齢者配食サービス事業において配達ボランティアの確保に苦慮する中、その空白部分を「ママ宅プロジェクト」がカバーするなど、公民協働の取り組みが進められている。</p>		
効果やポイント	<p>高齢者の生きがいづくりに寄与するだけでなく、特に町外から転入してきた若い女性にとっては地域を知り住民と交流を深める機会となっており、子育て中の不安が解消され、活動を通して「社会に貢献している」という自覚が生まれるといった効果も出ている。</p>		
経済的効果	<p>弁当や日用品を地元の商店から調達しており、地域経済の活性化にも寄与している。</p>		
今後の方向性	<p>サービスの利用者が年々増加していることから、多くの町民に声をかけて活動の輪を広げていく。</p> <p>今後、活動を通して住民同士が支え合うコミュニティづくりが推進され、独自の発想による新たな事業展開が図られることが期待される。</p>		

図・写真



ママプロジェクトってどんなことをするの？

地域のお年寄りに **ママだけでもOKです**
お弁当や日用品などを子どもと一緒に
お届けするサービスをします

メリット



子どもがお年寄りとの接し方
助けあいなど様々な生きる力を
ママと一緒に学ぶことができます

自分が地域の役に立っている事を
実感できます

優しい気持ちになれます

ママはボランティアをしながら
おこづかいがもらえます

配達の間帯はお昼と、
保育園などのお迎えついでにできる
夕方があります。

2013年4月より
ママたちのフリースペース
をはじめます

メリット



フリースペースは
自分のやりたいお仕事に使えます

フリースペースは
ママ達のアイデアで
子どもの習い事などに使えます

ママ達の話し合いで
子どもを遊ばせておく事ができます

「何かしたいけど歩み出せない」
そんなママもここで自分の
やりたい事を考える事ができます

ママたちのフリースペースは、2014
年を目指して地域の皆さんや観光の
お客様などをおもてなしできるショ
ップに進化する計画があります。



「ママ宅プロジェクト」は
子育てを楽しみながら
街づくりに参加する事ができます

みんなで
マーケットをひらきます

メリット



ママ達が集まって
わいわいがやがや計画を楽しめます

計画した事を実行に移し
充実感を感じられます

子どもと一緒におしゃべりしながら
社会貢献できる「ママ宅プロジェクト」

子育てママが元気で楽しく活躍中です！



【行政経営研究会本会 構成員からのコメント】

○ポイント

- ・1つの事業で、複数の効果（宅配、高齢者見守り、子育てママの社会参加、世代間交流）
- ・厳しい立地条件、財政条件、高齢化の中で努力し、意欲的。
- ・今後の事業の発展性が期待される

○委員からの個別意見

- ・地域コミュニティの育成により、地域の一体感が生まれている。
- ・子育て中の親子が宅配するところがよい。高齢者の楽しみが増えるのではないか。
- ・高齢化問題、女性の社会参加に関する大変優れた取組みだと思います。
- ・高齢者の見守りと子育てママの活用による交流が図られていて良い。
- ・宅配だけでなく、高齢者の見守り、買い物弱者対策と広がりが見られる。次の展開に期待。
- ・ママの確保といった点は今後の課題であるが、地域一体となった取組みとして評価できる。
- ・地域包括ケアのモデルとなる。2025年に向けて重要。
- ・今後の課題検討に向けての対処に期待します。
- ・1つの事業で、複数の効果をあげているすばらしい取組み。小規模町の良さが生かされている。
- ・厳しい立地条件・財政条件・高齢化の中での頑張りが見えるようでした。
- ・高齢化社会の1つのモデルとなる取組みと思う。
- ・高齢者の宅配は今後益々重要になってくる問題である。
- ・地域の課題である少子高齢化の両面への取組みがなされている点が良い。
- ・事業の発展性に期待します。世代間交流になり、すばらしい。
- ・地域が抱えているダイレクトな課題に意欲的に取り組んでいるところが良いと思う。
- ・PRを上手に行っていけば、人口増にもつながるのではないか。
- ・すばらしい取組みである。

【2】優良事例賞

自治体名	静岡県	課名	男女参画・市民協働促進課
年度		連絡先	054-221-1372
件名	障がい者を活用した学校ネットパトロール事業～就労支援プログラムとしての可能性を探る～ (協働パイロット事業 実施団体名：パソコンわかばくらぶ)		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他（市民協働）		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ その他（ ）		
対象	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他（ ）		
他地方公共団体との連携	あり（連携先： ） ・ なし		
目的・事業概要	<p>(目的)</p> <p>障害者がネットパトロール員となり、学校の有害情報等を巡視し、学校に報告をすることで、子どもをインターネット上の有害情報から守ると共に、現状の把握と不適切な書き込みの削除等を通し教員のスキルアップを目指す。また、障害者に日常業務や社会参画への足がかりを掴んでもらうことを目的とする。</p> <p>(事業概要)</p> <p>この事業は市民活動団体が自由テーマに応募し、教育委員会がこれに応じて契約が成立し、実現したもの。実施にあたっては、教育委員会と市民活動団体が役割分担して協働で事業を実施した。</p>		
効果やポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育課が実施主体であるNPOと学校の調整役を担うことで、円滑な事業運営ができた ・ 巡回業務及び報告業務実施による障害者のスキルアップ ・ 障害者自身の社会の一員であることの意識向上 ・ 報告を基に学校側が生徒に対して適正な指導を行うことができた <p>☆ ICT夢コンテスト 文部科学大臣賞（地域部門） 受賞</p>		
経済的効果			
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者からの反響も大きく、パトロールの要望が増加しているため、NPO側はそれに対応するための体制づくりに努めていく必要がある。 		

【行政経営研究会本会 構成員からのコメント】

○委員からの評価のポイント

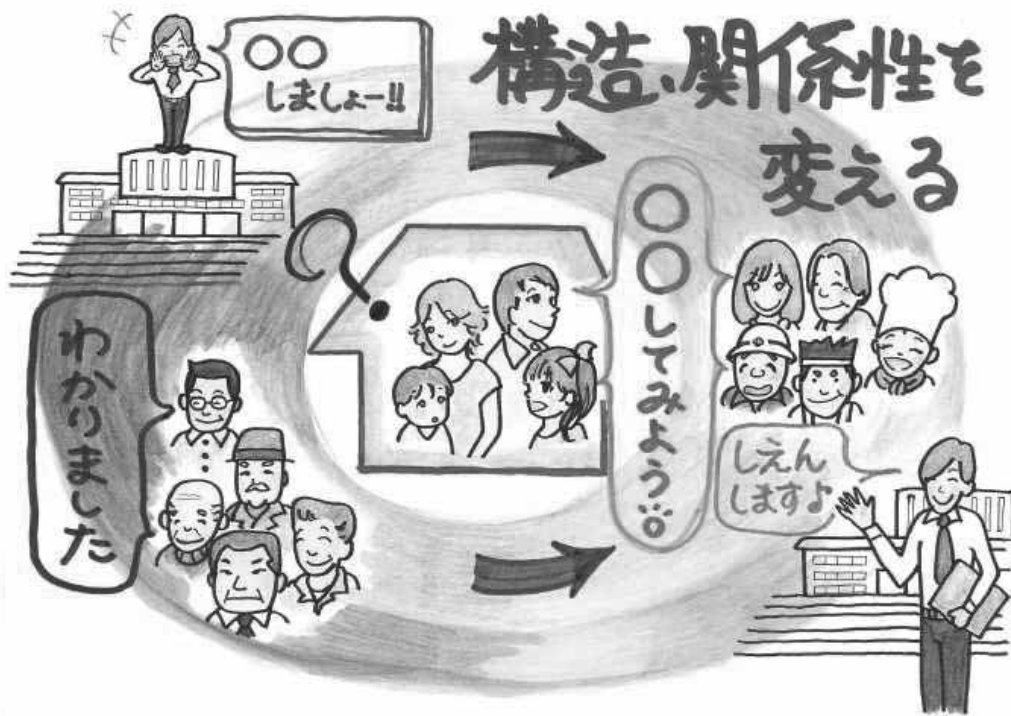
- ・障がいをお持ちの方と、うまく連携（マッチング）できていること。
- ・障がいをお持ちの方の自立支援、社会参加に貢献していること。
- ・取組み内容が、行政の縦割りを越えた内容であること。
→「障がい者のスキルアップ」と「子どもの見守り」が両立している。

○委員からの個別意見

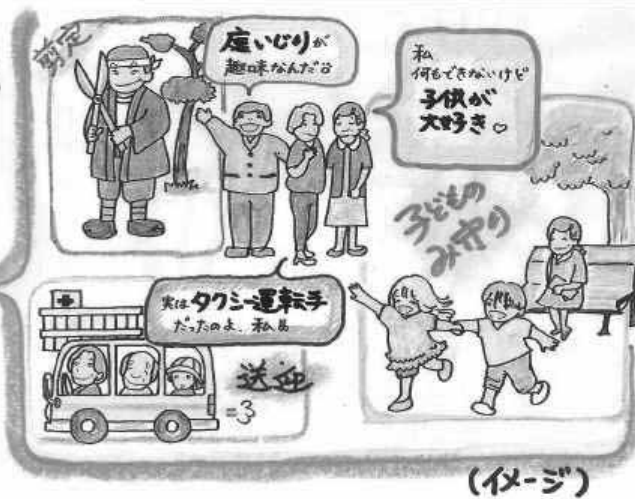
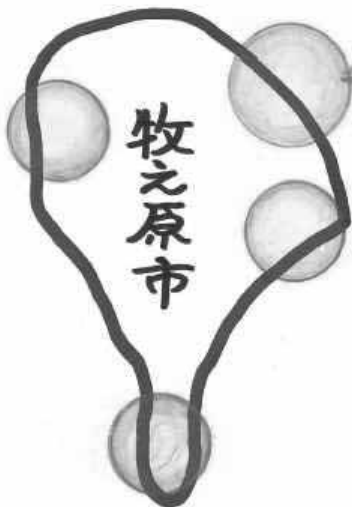
- ・学校のニーズと障がい者の活躍の場確保のマッチングが行政の縦割りを越えていて良い。
- ・障がい者の参画による事業であり、スキルアップと子どもの見守りが両立。
- ・悪質有害情報の発見数、事例、実際の対応、状況などについても報告をいただければ、なおよかった。（教育委員会サイドの効果測定）
- ・異なる分野の人達を担い手として結び付け、課題の解決に取り組んだ点がすばらしい。
- ・障がいをお持ちの方との連携ができており、長続きする事業と思います。
- ・見事なマッチングだと思う。
- ・障がい者の自立支援にも役立っている。
- ・障がい者の社会参加は重要である。ネットだと引きこもりが心配。

【2】優良事例賞

自治体名	牧之原市	課名	地域創生課
年度		連絡先	0548-23-0053
件名	牧之原市地域の絆づくり事業 (津波防災まちづくり計画、地区まちづくり計画など)		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他（地区計画の策定）		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ その他 ()		
対象	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他 ()		
他地方公共団体との連携	あり（連携先：) ・ なし		
目的・事業概要	<p>牧之原市では住民自治推進のため、市内10の小学校区ごとに結成した「地区自治推進協議会」において、「地域のことを地域住民で考え行動する」取組を行っている。</p> <p>平成24年度には、市内10地区のうち沿岸部の5地区が合同で「津波防災まちづくり計画」を策定したほか、山間部1地区（坂部地区）が「地域まちづくり計画」を策定し、平成25年度に住民が同計画の実践に着手した。</p> <p>さらに、「地域まちづくり計画」は、平成26年度に別の3地区が策定、平成27年度も残り6地区が着手し、市内全地区で「地域の絆づくり事業」の展開が進む。</p>		
効果やポイント	<p>地域計画づくりは地区自治推進協議会が主体となり、様々な立場の人が自由に意見を交わし、合意形成をはかる「男女協働サロン」というワークショップの手法により意見集約を行う。「男女協働サロン」は市民ファシリテーターが進行を行い、行政は「男女協働サロン」に参加する形で計画づくりに加わる。地区計画を地区が主体となって定めることで、押し付けられたものではなく、自らが主体となって取組むべき計画という意識が生まれている。</p>		
経済的効果			
今後の方向性	市の重要な計画や、地域に関係する計画の策定、及びその実施にあたっては市民との協働を積極的に進めていく。		
図・写真	(サロンの様子 別紙)		



様々な関係者が 公共を運営する

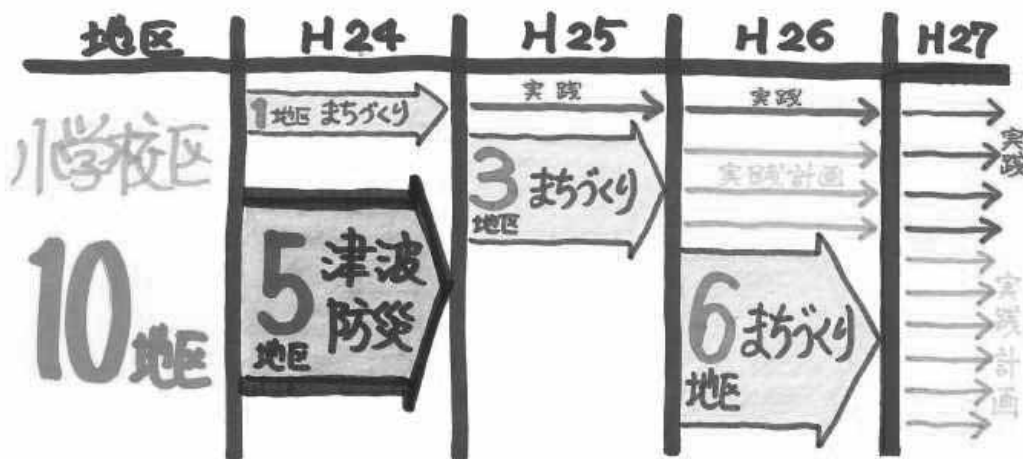


小学校区 (10地区)ごとに～



地区自治推進協議会の取組

◆絆づくり事業の実施状況



男女協働サロン＝対話して共感して合意する



これだけ話し合ったら決まったことだから

- ★ もう これをやるしかないよ
- ★ とにかく みんなで 精一杯やろうよ

合意をする

男女協働サロン
(ワークショップ)



3つのアイテムとセンスが決め手！



市民ファシリター



参加者の主体性を
引き出し
進行の技術



ルールとモットー



サロン『僕も私もママもおじちゃんも、み～んな主役♡』



地域の魅力



私たちに
何が
できるだろう

考えることから

自治・地域づくりが始まる

男女協働サロン



男女協働サロン



サロンのルール



アイスブレイク



サロン飾り



サロン飾り



【行政経営研究会本会 構成員からのコメント】

○委員からの評価のポイント

- ・市民が「自ら」「主体性」をもって参画していること。
- ・市民が主導することにより、実効性ある「計画」が策定できていること。
- ・若者や女性の参画を得ていること。
- ・住民が楽しんで参加していること。

○委員からの個別意見

- ・問題提起から計画づくり、実行まで、住民主導であることが素晴らしい。
- ・住民自治を具現化した先進的取組みと言える。
- ・コミュニティが弱体化している中において、住民の自主性の高める取組みとして参考になった。
- ・市の課題解決を老若男女による協働で展開する仕組みを全市域で行っている。
- ・自主性を評価。自分たちの計画としている点で実効性が高い。
- ・委託や行政主導ではなく、地域住民主体であることに共感する。特に「男女協働サロン」の手法は意見集約に有効。
- ・市民自らが防災計画を作るんだという意識付けが大変良い。
- ・高校生を含めた住民の皆さんが、地域の課題を真剣に話し合われていた姿に感銘しました。
- ・ファシリテーターを地元の高校生に任せたところが素晴らしいと思います。
- ・「津波防災」というテーマは市民の関心も高く、参加しやすいテーマである。他のテーマでも市民参加が広がっていくとよい。
- ・住民のとりまとめが大変だったと思われるが、そこに高校生を配置したのが良い。
- ・参加した人たちが「楽しかった」と感想を述べていることに次への期待がふくらむ。
- ・「命を守る」という住民にとって重要なテーマを住民自ら考えるもので、テーマの選定が良かったと思う。若者や女性をうまく取り込んだ取組みで、住民の意識も高まったのではないか。
- ・協議会の枠組み・取組みを大切にし、継続して取り組んでください。
- ・市民の主体性を引き出し、まさにこれぞ「市民協働」（公民連携）といえる取組みだと感じた。

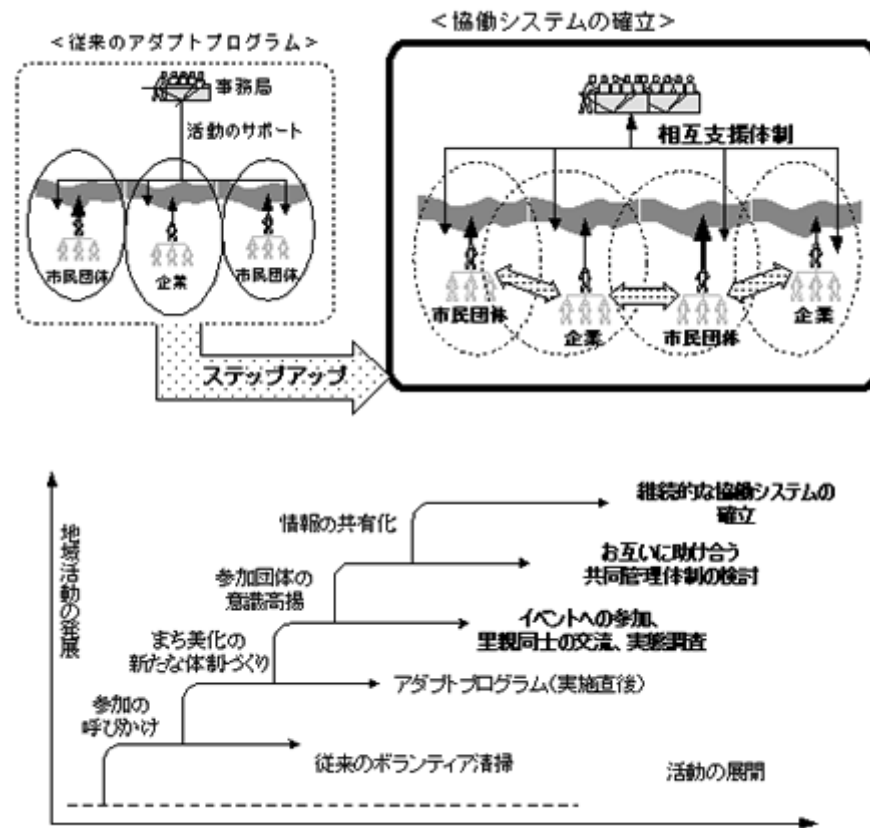
2 業務一般における公民連携・協働


【1】住民参加


自治体名	沼津市	課名	市民協働課
年度	平成26年度～	連絡先	055-934-4807
件名	協働のまちづくり人材育成講座		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他（ ）		
手法	住民参加 ・ 提案型事業（提案型委託等） ・ 事業協力・連携（共催、後援、協議会等） ・ その他（ ）		
対象	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他（市職員・学生）		
他地方公共団体との連携	あり（連携先： ） ・ なし		
目的・事業概要	地域住民及び市職員が、協働に関する知識や認識を深めるとともに、地域が抱える課題について、効率的かつ効果的に対応していくため、課題の共有や重点課題の見定めから、その解決に向けた実行策の企画・立案、実行までの実践的なスキルを習得する体験型の講座を実施する。（年に1地域で開催。全5回講座）		
効果やポイント	地域で自主的に活動することのできる人材が育成される。 また、実際の地域の課題をテーマに進めることで、地域の課題をより身近に感じ、地域づくりについて考える機会になるとともに、講座の中で企画立案した計画を地域の中で実践していくことで、地域全体の活動の活性化に繋がる。		
経済的効果			
今後の方向性	別の地域でも同様の講座を開催することで、市内の各地域において自主的に活動できる人材を増やしていく。		
図・写真			

自治体名	三島市	課名	商工観光課
年度		連絡先	055-983-2656
件名	JR三島駅南口里親制度（アダプトプログラム）		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他（ ）		
手法	住民参加 ・ 提案型事業（提案型委託等） ・ 事業協力・連携（共催、後援、協議会等） ・ その他（ ）		
対象	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他（ ）		
他地方公共団体との連携	あり（連携先： ） ・ なし		
目的・事業概要	JR 三島駅南口駅前広場は快適な空間としてベンチサークルで休憩する方が多く、富士箱根伊豆の玄関口の機能を持つ。三島市では「里親制度（アダプトプログラム）」や「周辺企業の負担による清掃委託」など、維持管理についても協働で実施。		
効果やポイント	清掃・ごみ拾い、除草 花壇の世話（水やりなど） 行政への情報提供（含むパトロール） 行政経費の削減や今後の増加の抑制		
経済的効果	不明 ※シルバー人材（1名）を委託した場合の費用試算 1,100 千円		
今後の方向性	継続的な協働システムの確立 従来の役割分担による実施に加え、イベントの開催や参加団体との実態調査を通じた参加団体の意識高揚や、全体として情報共有により参加団体同士が助け合い、地域での活動を充実させる共同管理体制の検討が必要と考えられる。		

図・写真



自治体名	三島市	課名	健康づくり課
年度		連絡先	055-973-3700
件名	健康マイレージ事業		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他（ ）		
手法	住民参加 ・ 提案型事業（提案型委託等） ・ 事業協力・連携（共催、後援、協議会等） ・ その他（ ）		
対象	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他（ ）		
他地方公共団体との連携	あり（連携先：静岡県） ・ なし		
目的・事業概要	<p>企業・公的団体・コミュニティ・地域住民等の協力を得て、健康・生きがい・ボランティア・まち歩きなど様々な活動でポイントをためることで、市民誰もが健やかで幸せに暮らせる取り組みを実施。</p> <p>施設を利用する、イベント講座に参加する、健診やウォーキング、ボランティアなど実施するとポイントをためることができ、応募により還元する。</p>		
効果やポイント	<p>市民自らが楽しみながら健康づくりに取り組むきっかけとなる。また、外出するきっかけとなり、コミュニティづくり・きずなづくりとなる。</p> <p>企業や公的団体の協働により地域経済活性化やにぎわいのあるまちづくりへとつながる。</p> <p>H24年度 3,547件 H25年度 9,959件 H26年度 11,357件 H27年度 11,202件</p>		
経済的効果			
今後の方向性	<p>市民への健康マイレージ事業は中高年を中心に徐々に浸透している。また、健康づくりのきっかけとなっている。今後は、就労世代への健康づくり意識向上への仕掛けを考案し、あらゆる年代の参加を促す。</p>		
図・写真			

自治体名	三島市	課名	広報広聴課・情報システム課
年度	平成28年度	連絡先	055-983-2620
件名	シニア向けタブレット講習会の開催		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他 ()		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ その他 ()		
対象	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他 ()		
他地方公共団体との連携	あり(連携先:) ・ なし		
目的・事業概要	市民ボランティアと市の協働で、高齢者向けにタブレット端末の講習会を実施。家族や仲間との交流や生活の利便性向上など、豊かな生活の促進を図る。		
効果やPRポイント	60歳位の市民ボランティアが主となっており、受講者に近い視点で講習を実施している。また、市民ボランティアがコミュニティをつくり、希望者には受講後もサポートできる体制を整えている。 市民自らが情報に触れる機会が増え、自発的な行動につながるだけでなく、家族や仲間との絆づくり、生きがいづくり、趣味につながる。		
経済的効果			
今後の方向性	市民ボランティアが主体となり、定期的な講習会の開催やコミュニティの作成など、市民へのサポートと相互の交流を深めていく。		
図・写真			

自治体名	三島市	課名	情報システム課
年度	平成28年度	連絡先	055-971-4322
件名	親と子のスマホ・SNS安心情報ネットワーク会議		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他 (安全・安心)		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ その他 ()		
対象	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他 ()		
他地方公共団体との連携	あり(連携先:) ・ なし		
目的・事業概要	<p>子どもたちのインターネットトラブルなどに対する正しい情報モラルの醸成と専門組織同士が綿密な連携でトラブルに迅速な対応を行うことを目的に、子どもたちへ人権教室、警察や行政の出前講座などモラル教育を実施している様々な団体が連携して、子どもたちが安心して暮らすことができる環境づくりを地域一体となって取り組む「親と子のスマホ・SNS安心情報ネットワーク会議」を発足(平成28年11月)し、情報モラル教育の推進を行っている。</p> <p>また、子どもたちやその保護者に正しい情報モラルを身につける講座を実施する市民ボランティア「三島スマホ安心アドバイザー」を立ち上げ、地域の人による、地域の人のための情報モラル教育に取り組んでいる。アドバイザーは、県主催のスマホアドバイザー養成講座などの講座を修了し認定を受けている。</p>		
効果やPRポイント	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域で情報モラル教育を活動する団体間の情報交換が可能 ② 多数の市民が参加し、情報モラル教育の必要性を広く周知 ③ 子どもからシニアまで幅広い世代で情報モラルのスキルアップ 		
経済的効果			
今後の方向性	<p>継続して定期的な情報交換会を実施して「顔の見える」関係を構築。また、各団体間の情報共有や協力により、団体活動の充実を図り、全市的な情報モラル教育の推進を図る。</p>		

親と子のスマホ・SNS安心情報ネットワーク会議

①市

- ・情報システム課、広報広聴課、学校教育課、生涯学習課
- ・三島市教育委員会(小・中学校)

②相談・教育支援機関

- ・三島警察署
- ・三島市人権擁護委員協議会
- ・三島市民生委員児童委員協議会

児童・生徒・保護者

③市民

- ・三島市PTA連絡協議会
- ・三島スマホ安心アドバイザー
- ・市民ボランティア(ICT みしま)など

④情報セキュリティ専門機関

- ・一般社団法人セキュリティ対策推進協議会
- ・独立行政法人情報処理推進機構



図・写真

三島スマホ安心アドバイザー

市民ボランティアが情報モラル教育の指導者


- (1) 情報漏えいなどの脅威から自身を守る知識
- (2) ネットを利用したコミュニケーション
- (3) ネットトラブルに遭遇した場合の対処




【講師 26人 (H28年8月現在)】

- ・人権擁護委員(含 弁護士) 5人
- ・民生委員・主任児童委員 10人
- ・ICTボランティア 7人
- ・三島市役所 4人

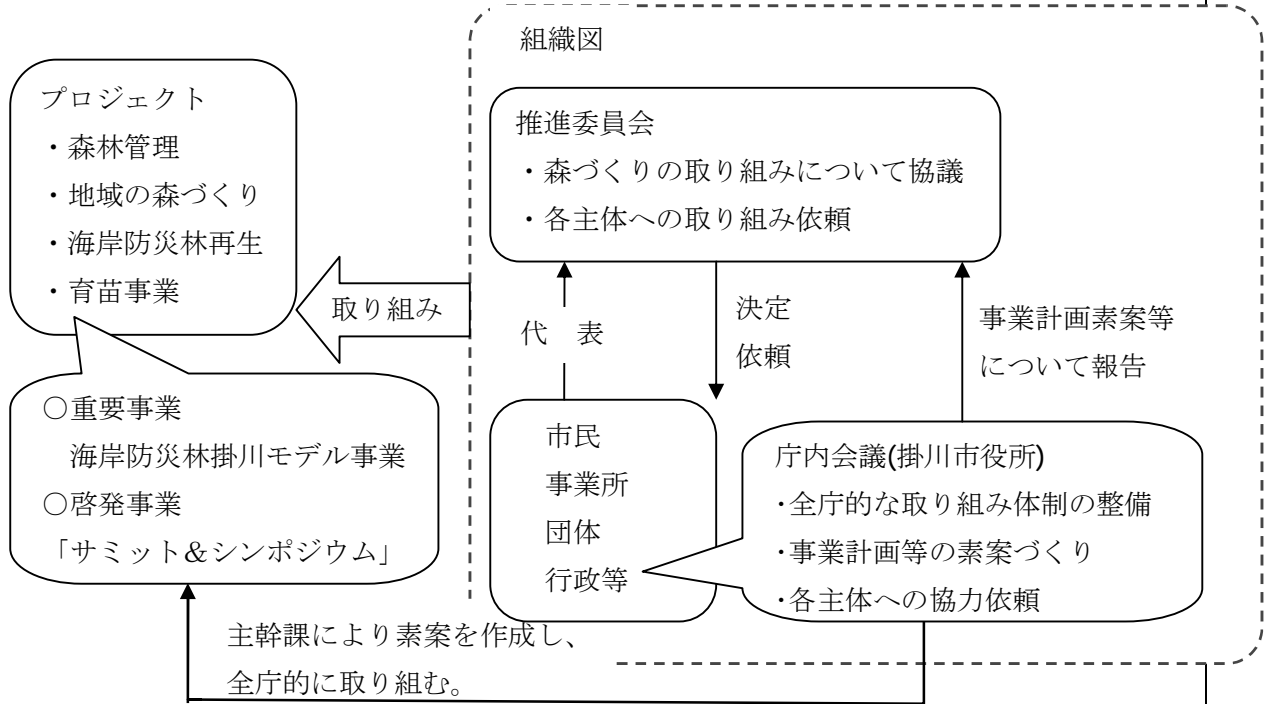


自治体名	磐田市	課名	農林水産課
年度		連絡先	0538-37-4813
件名	トレッキングコース作り		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他（ ）		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ その他（ ）		
対象	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他（ ）		
他地方公共団体との連携	あり（連携先： ） ・ なし		
目的・事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元住民や市民活動団体とのワークショップを開催し、既存のハイキングコースや山林の管理道を再生・活用して自然を気軽に体感出来るトレッキングコースを作ることになった。 ・ コース作りは、ワークショップ参加者及び地元住民を中心としたボランティアの協力を得て行った。 		
効果やポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ トレッキングコースの整備により多くの方に山林に目を向けていただけるようになり、山林の管理にも興味を持ってもらえた。 		
経済的効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間を通してトレッキングを楽しむ方が訪れるようになった。 ・ 婚活イベントを始めとして、各種イベントにトレッキングコースが活用されるようになり、各種イベントの活動の幅が広がった。 		
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアガイドによる、ガイドトレッキングを通して多くの方に山林に親しんで頂くとともに、安全なコースコンディションを維持するため、ボランティアにより定期的に整備を行っていく。 		
図・写真			

自治体名	掛川市	課名	都市建設部事業推進係
年度		連絡先	0537-21-1108
件名	生まれかわった深田川（市民協働による河川美化活動）		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他（ ）		
手法	住民参加 ・ 提案型事業（提案型委託等） ・ 事業協力・連携（共催、後援、協議会等） ・ その他（ ）		
対象	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他（ ）		
他地方公共団体との連携	あり （連携先：静岡県袋井土木事務所） ・ なし		
目的・事業概要	単なる河川改修事業ではなく、生き物など自然環境が守られ、地元小学校の児童や地域の人々が、地域の憩いの場として水辺に親しめるように、地元小学生の声を河川整備に反映させた。 また、本年7月には、児童が考案した河川美化看板が設置された。		
効果やポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 河川整備により、植物や昆虫、水中生物が末永く生息できる環境づくりを行った。 ・ 整備計画策定に際し、県・市・地元小学校児童によるフィールドワークや意見交換会を行い、子ども達の考えを取り入れた河川環境づくりや、河川への愛着や環境意識を育んだ。 ・ 今回の河川整備を契機に、地元区が市、県とリバーフレンドシップ協定を締結し、河川愛護活動に取り組む予定。 		
経済的効果			
今後の方向性	児童が、郷土を愛し、誇りが持てるよう、児童・地元区が協働で草刈り等を行い、水に親しめる環境を維持していく。		
図・写真	 <p>平成26年7月1日 深田川への看板設置、4年生・水の出前講座</p>		



自治体名	掛川市	課名	地域支援課
年度		連絡先	0537-21-1150
件名	いのちを守る「希望の森づくり」プロジェクト		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他（防災、森林再生）		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力（共催、後援、協議会等） ・ その他（ ）		
対象	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他（ ）		
他地方公共団体との連携	あり（連携先： ） ・ なし		
目的・事業概要	<p>○目的</p> <p>森林には、水源涵養や炭酸ガスの吸収など様々な機能が認められています。</p> <p>また、海岸林は津波の減衰効果、公園など都市部の緑化は火災延焼防止など防災機能もクローズアップされてきました。</p> <p>市では、森は生命の源泉という考えをもとに、荒廃のすすむ森林再生を市民、団体、企業、行政が協働で取り組み、森づくりを通じて「生命の尊さ」や「森の大切さ」の意識を共有することを考えています。</p> <p>○事業概要</p> <p>①山間部の森林再生 ②都市緑化 ③海岸林の再生 ④植樹のための苗木づくり</p>		
効果やポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民、NPO、企業、行政の総参加による森づくり ・ 「希望の森づくりパートナーシップ協定」締結による企業・団体等との協力体制の構築 		
経済的効果	苗木づくり等による障害者らの雇用		
今後の方向性	東南海巨大地震による津波被害が喫緊の課題であるため、海岸林再生を重要プロジェクトとして進める。		

組織イメージ図



植樹祭写真 (H26. 11. 29)



自治体名	藤枝市	課名	市民活動団体支援課
年度		連絡先	054-643-3274
件名	ディーセントライフ事業		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他（ ）		
手法	住民参加 ・ 提案型事業（提案型委託等） ・ 事業協力・連携（共催、後援、協議会等） ・ その他（業務委託）		
対象	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他（ ）		
他地方公共団体との連携	あり（連携先： ） ・ なし		
目的・事業概要	<p>シニア世代や育児中の母親などをターゲットに、社会貢献活動を通じた仲間づくりにより、自身の生きがいづくりと市民活動の拡大を目指している。</p> <p>①農業体験プログラム 耕作放棄地を活用した農業体験活動。</p> <p>②子育て支援プログラム 出産や育児で離職した女性を対象に、再就職を目指すためのパソコン講座を託児付きで開催。託児はボランティアが実施。</p>		
効果やポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業実施にあたり、行政の関係部署が連携 ・ 市民活動への動機付けと、参加の機会の提供 ・ 活動プログラムを通じて出会った市民同士の交流促進と新たな活動への展開（活動意識の向上） ・ 参加者の心身の健康の維持、増進（生きがいづくり） 		
経済的効果	不明		
今後の方向性	各プログラムへの参加者の拡大を図るとともに、参加者の自主的な活動に向けた意識付けにより、継続的な市民活動へつなげる。		
図・写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲パソコン講座の託児の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲農園でジャガイモ収穫体験</p> </div> </div>		

自治体名	裾野市	課名	生涯学習課
年度		連絡先	055-992-3800
件名	裾野市パートナーシップ事業補助金		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他（ ）		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ その他（ ）		
対象	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他（ ）		
他地方公共団体との連携	あり（連携先： ） ・ なし		
目的・事業概要	市民と市のパートナーシップにより魅力あるまちづくりを推進するため、地域の活性化に受けた市民の自主的な活動に補助金を交付するもの		
効果やポイント	市民が自発的に参加し、地域の活性化や課題解決に取り組む公益性のある事業を提案型で随時受け付け 審査を市民と職員からなる協議会が実施している 平成23年度から実施し、これまで37事業を採択		
経済的効果	不明		
今後の方向性	事業のPRを行い、公共の分野を担う市民活動を積極的に支援		
図・写真			

自治体名	裾野市	課名	生涯学習課
年度		連絡先	055-992-3800
件名	裾野市きれいなまちづくり推進事業		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他（ ）		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ その他（ ）		
対象	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他（ ）		
他地方公共団体との連携	あり（連携先： ） ・ なし		
目的・事業概要	市が管理する道路、河川、公園、用地等の市民にとって身近な公共空間の美化を促進するため、ボランティアにより継続性をもって行われる環境美化活動を支援し、環境美化への市民意識の高揚、きれいな公共空間の創出を図る		
効果やポイント	環境美化活動を実施したい市民と話し合いにより、場所・面積・実施内容等を決定し、市と合意書を取り交わす 市は面積に応じ、補助金を交付し活動の支援を実施 平成23年度から実施し、これまで12団体と合意		
経済的効果	不明		
今後の方向性	事業のPRを行い、公共の分野を担う市民活動を積極的に支援		
図・写真			

市町名	裾野市	課名	生活環境課
担当者		連絡先	055-995-1816
件名	TNR 活動及び地域猫活動		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他 ()		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ その他 ()		
協働先	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他 ()		
他地方公共団体との連携	あり(連携先:) ・ なし		
目的・事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的 飼い主のいない猫の環境への社会問題が増加傾向にあるが、解決のため TNR 活動及びその猫を地域で管理していく地域猫活動を推進していく。 ・ 事業概要 行政と動物ボランティア団体が役割分担して協働で事業を実施。 市に相談が来た地区に対し、説明会を実施し、理解を得るとともに地区の方にも協力を要請。 その後、TNR を実施し、ボランティアと地区の方とで協力して地域猫として見守っていく。 		
効果やPRポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政の信用と広報、動物ボランティア団体の猫に対する知識、ノウハウなど互いの強みを活かされた。 ・ 動物愛護の精神に基づき、不幸な野良猫を減らしていくことが出来た。 		
経済的効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野良猫が減ることにより、路上での轢死などが減り、回収費用や負傷動物の治療費削減につながる。 ・ 地域の環境問題として捉えるため、糞害などが減り環境美化となり清掃費用等の減少が予測できる。 		
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動物ボランティア団体や、地域の方の協力により、継続的に猫の管理を行っていく。 ・ 併せて、動物愛護について普及啓発を推進していく。 		
図・写真			

市町名	裾野市	課名	農林振興課
年度		連絡先	055-995-1823
件名	裾野市パノラマロードを花でいっぱいにする会		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ <input type="checkbox"/> 地域活性化 <input type="checkbox"/> ・ 維持管理 ・ その他 ()		
手法	<input type="checkbox"/> 住民参加 <input type="checkbox"/> ・ 提案型委託 <input type="checkbox"/> ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ その他 ()		
協働先	NPO ・ <input type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> ・ <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> ・ <input type="checkbox"/> 公的団体 <input type="checkbox"/> ・ <input type="checkbox"/> コミュニティ <input type="checkbox"/> ・ <input type="checkbox"/> 自治会 <input type="checkbox"/> ・ その他 ()		
他地方公共団体との連携	あり(連携先:) ・ <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/>		
目的・事業概要	裾野市須山地区は芝の生産が盛んだったが、需要の低下により遊休農地が増えていた。パノラマロードは雄大な富士山を眺望でき、地域の自慢の場所である。そこで、有志が立ち上がり景観作物を植栽することにより、遊休農地の解消・地域振興・交流人口の増加を図る。		
効果やPRポイント	パノラマ遊花の里は、雄大で均衡のとれた美しい富士山が見られる場所である。富士山を背景にした花畑が遊休農地の解消、地域住民の地元愛や景観などの自然環境の保全意識の醸成、市民協働の推進、市のイメージアップ観光振興など多方面での効果をもたらしている。		
経済的効果			
今後の方向性	花の見ごろの時期だけでなく種蒔きや草刈の参加者募集、実施状況の広報活動を行い、会員の増加、意欲向上を図っていく。		
図・写真	別紙のとおり		

パノラマロードを花でいっぱいにする会活動写真



自治体名	裾野市	課名	生涯学習課
年度	平成 28 年度	連絡先	055-992-3800
件名	生涯学習センター市民提案型教養講座の提案募集及び開催		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他 ()		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ その他 ()		
対象	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他 ()		
他地方公共団体との連携	あり(連携先:) ・ なし		
目的・事業概要	裾野市生涯学習センターにおいて開催する市主催講座「生涯学習センター教養講座」のうち数件について、市民及び市内団体から企画とその運営者を募集し、実際に講座を開講していただくもの。 平成 27 年度下半期に試行的に 1 件開講し、平成 28 年度には 4 件開講した。平成 29 年度には 6 件開講の予定である。		
効果や PR ポイント	地域住民や団体が、その経験や技能を主体的に活用し、地域の中で活躍する機会を創出できる。		
経済的効果	<記載できない場合は不要です>		
今後の方向性	現行の講座については継続して開講できるよう支援し、新たな講座開講に向けて企画提案の公募を行う。		
図・写真			

自治体名	袋井市	課名	都市整備課
年度		連絡先	0538-44-3165
件名	花工場による緑化推進 ～市民の力で花いっぱい！～		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ <u>地域活性化</u> ・ <u>維持管理</u> ・ その他（ ）		
手法	<u>住民参加</u> ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ その他（ ）		
対象	NPO ・ <u>地域住民</u> ・ 企業 ・ <u>公的団体</u> ・ コミュニティ ・ <u>自治会</u> ・ <u>その他</u> （ 花の会、福祉施設 ）		
他地方公共団体との連携	あり（連携先： ） ・ <u>なし</u>		
目的・事業概要	<p>市内を花いっぱいにすることを目的に「地域の花は地域で生産」できるように市内に「花工場」を設置している。</p> <p>「花工場」は市内に 9 箇所あり、市民（グループや家族）が種子からポット苗を育苗し、年間約 16 万ポットを生産。自治会、シニアクラブ、教育施設、公民館など公共施設、老人ホームなど福祉施設、約 200 団体に配布し、多くの市民に関わっていただきながら花を育てていただいている。</p> <p>《主な流れ》</p> <p>① 前年度に 1 年分（前期・後期）の注文をとり、各花工場へ依頼。 花：葉物 1 種、花 5 種（色物は 2～3 色）を年 2 回配布 配布時期：6 月と 11 月</p> <p>② 申し込み団体に決定通知（花の種類と数量、配布花工場）</p> <p>③ 花苗ができあがると各団体に連絡。各団体はそれぞれ指定の花工場に花苗を取りにいき、花壇等へ植栽する。</p> <p>④ 植栽後のポットやカゴは元の花工場へ返却していただく（再利用）</p> <p>⑤ メッセージ付完了報告書を市役所へ提出</p>		
効果やポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の方に 16 万本の花苗を植栽していただくことで市内が花いっぱいになります。 ・ 花工場の皆さん（育苗する市民）と団体（植栽、管理する市民）がつながるよう、報告書には作業の写真と花工場の皆さんへのメッセージをお願いしています。 ・ 販売している苗ではなく、地域の方が育てた苗を地域の方が植えることで、地域の景観づくりになるだけでなく、コミュニケーションの場となっています。 ・ 幼稚園等では花苗の提供により限られた財源の中で多くの花を育てられることから、花育の推進にもつながっています。 		

経済的効果

今後の方向性
 高齢化に伴い、シニアクラブ等での活動が難しくなっている現状がありますが、日本一健康文化都市をめざす袋井市として、花を植えることで体を動かし（体の健康）、また、地域に花があることで心の癒やしになったり親しみのある景観づくり（心の健康、まちの健康）となるよう、花を通した活動を今後も継続していきます。
 また、植えた後の管理や植えた花の活用も提案して参ります。



【『花工場』運営の概要+写真】

図・写真

『花工場』運営の概要

1 設置目的
 公民館単位、1箇所を目処に設置を行い、各地区の花の受給に対応していくとともに、花の普及に関しての地域の核とし、コミュニティーの場としていくことを目的とする。
 花と緑にあふれた地域づくりを目指し、公共施設、遊休地および沿道に飾る花を種から苗を育成し、公共施設等に出荷する。

2 現在の設置状況(箇所)
 高南地区 袋井南地区
 三川地区 袋井西地区
 袋井東地区 浅羽南地区
 笠原地区 浅羽北地区
 山名地区

3 配布対象
 公共施設(公民館等)、教育施設(幼保、小中)、花の会、老人クラブ等地域団体、福祉施設
 約200団体


4 平成25年度生産実績
 1花工場あたり年間約16,000ポット(8,000×2回) 全体 16万ポット
 春：パンジー、ビオラ、リナリア、リシマキ、ヒヤシンス、アリッサム
 夏：オスベリヒメ又は松葉ボタン、サザンカ、千日紅、ブルーヒメア、ニチヤガ、コリス

5 業務内容
 播種、鉢あげ、水かけ等日常管理、出荷準備、市との連絡調整

6 年間スケジュール

作業月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
播種	→											←
鉢あげ		←				→						
出荷			←				→					
種子手配				○							○	
打合せ					○							○

【南町花工場】 【宝野花工場】

自治体名	袋井市	課名	企画政策課
年度	平成28年度	連絡先	0538-44-3104
件名	市民ブロガーの育成		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他（ ）		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ その他（ ）		
対象	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他（ 花の会、福祉施設 ）		
他地方公共団体との連携	あり（連携先： ） ・ なし		
目的・事業概要	<p>袋井の魅力発信のためのシティプロモーション事業の一環として、地域情報ポータルサイト「はまぞう」と連携して年4回「市民ブロガー育成講座」を開催している。</p> <p>ブログを通して市の魅力を発信してもらうために、「はまぞう」のスタッフが講師となり、注目を集めるための文章表現や写真・動画の撮影方法などを伝授。市民自らの情報発信の強化を目指す。</p>		
効果やポイント	<p>4回の開催で約40人が受講。中には、ほぼ毎日ブログを更新して袋井市の日々を発信している方や、ブログ人気ランキングの上位にランクインする方もいる。</p> <p>市民の皆さんが、楽しみながら市の広報マン・ウーマンとして活躍してくれている。</p>		
経済的効果	—		
今後の方向性	市の情報発信に協力してくれるブロガーの増加を目指すとともに、そうしたブロガーへ、質の高い情報を定期的に提供していくシステムを構築する。		
図・写真	 <p>「夜景の撮り方講座」 「ブログとSNSとの違いについて学ぶ」</p>		

自治体名	伊豆市	課 名	総合戦略課
年度		連絡先	0558-74-3066
件名	新たな地域づくり（地域づくり協議会の設立）制度		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他（ ）		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力（共催、後援、協議会等） ・ その他（ ）		
対象	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他 （ 任意団体 ）		
他地方公共団体との連携	あり（連携先： ） ・ なし		
目的・事業概要	賑わいのあった昔の「むら」の再生を目的に、市内地域を 13 小学校区に分けて、地域の課題や問題点を地域住民で話し合い、協議会を立ち上げて事業計画をたて、市からの交付金により事業計画に基づいた事業を実施するという、地域主体の制度である。		
効果やポイント	地域で特色のある事業計画を作ることができ、地域の課題解決が早くなることや、自分たちの思いや考えが課題解決に反映しやすくなって満足度が向上することなど、地域の活性化に繋がる。		
経済的効果	地域で「ひと」と「ひと」の交流が図られ、活気が生まれ、他地区及び市内外からの交流人口が増加する。		
今後の方向性	現在 13 地区中 4 地区での設立となっている。平成 32 年度末には 13 地区中 8 地区での協議会の設立を目指す。		
図・写真	別添、3 地区の協議会だより。		

○土肥・小土肥地域づくり協議会地域づくりかわら版



Vol.6
2016.12発行
編集発行
土肥・小土肥
地域づくり協議会
広報部会

活動報告

【防災部会】 部長 佐藤誠一郎

- ・中浜・平野地区避難地へのソーラー式外灯設置工完了。(9/27)
災害時の夜間避難は停電が予想されます。避難地にソーラー外灯があれば安心です。今後、地区の要望に合わせて予算化し、各地区に増設の予定です。
- ・小土肥出口区内の危険木伐採工完了。(10/5)
市有地の雑木が大木になり、台風時には枯れ枝が落下して危険でしたが、安全な広場に戻りました。11月20日にはこの広場の周りに土肥桜の苗木が植えられました。




【環境美化部会】 部長 堀木宏一

11月13日(日)今年度2回目となる「土肥中央農道クリーン作戦」を実施しました。
午前8時に小土肥八幡神社前に協議会役員、小土肥地区有志など総勢25名が集まり、午前中にかけて作業を行いました。
これまでは道沿いの草刈りでしたが今回は緑が道沿いから立木をチェーンソーで伐採しましたのでより見通しがよくなりました。狭い農道ですので安全運転でご利用下さい。

土肥桜植栽
11月20日(日)、小土肥地区で土肥桜23本の植栽を実施しました。3月の土肥小学校の卒業記念植樹に続けて今年で2回目となります。当日は、地区の皆さんを含め30人ほどで、小土肥大川沿いの市有地、河川敷、消防団詰所前、国玉神社の4カ所で植栽を行いました。3~4年後には綺麗な花を咲かせます。土肥桜の名所、憩いの場になればいいですね。

ご参加の皆さん、お疲れ様でした!



【交流促進部会】 部長 小長谷雅二

11月3日(文化の日)、「第2回ふるさと祭り」を土肥小学校で開催しました。開会式では、藤田健一会長の開会挨拶後、副市長から祝辞をいただき、野毛典喜さんの名詞会でステージイベントからスタートしました。ステージでは6団体が出場し、歌、ダンス、語り、演劇を披露し、交流イベントは、紙ヒコーキ飛ばし、輪投げ、グラウンドゴルフが行われ世代を超えた交流促進の場となりました。「懐かしの写真展」には小土肥地区の写真も数多く展示され多くの方が見入っていました。日弁率社団、民生委員、花の会の方々がおいでになり、陣汁等を、平野老人会がそばを作り400人あまりの佳境が味わえました。
最終イベントは、空くじなしで小土肥産新米、ひもの、土肥金山酒カステラ(土肥金山提供)、入浴券(土肥温泉旅館協同組合提供)の当たる抽選会で大いに盛り上がりました。
今回も各区分長をはじめ消防団第12・13分団、各種団体の協力のもと楽しく盛大な祭りとなりました。

【ステージイベント】

- ・どうぶつ村のぼんぼりバス
- ・おどるポンポコリン
- ・長生きサンバ
- ・サザエさん
- ・フラダンス
- ・浦島太郎

こども園 小学生 レッツ大衆 大新井クラブ ラーハークラウ 中浜コミュニティの会

【交流イベント】

- ・グラウンドゴルフ
- ・輪投げ
- ・紙ヒコーキ飛ばし

【お楽しみ抽選会】

ふるさと祭りの運営に協力いただきましたスタッフ、関係者の皆様、大変お疲れ様でした。ご参加いただきました皆様も大いに楽しんでいただけたと思います。「第3回ふるさと祭り」は来年も、11月3日開催予定です。どうぞお楽しみに!

【編集後記】

第6号をお届けします。今年度も協議会運営にご協力下さい。来年も宜しくお願いします。広報部長 吉知克己

【懐かしの写真展】

○湯ヶ島地区地域づくり協議会だより

湯ヶ島地区地域づくり協議会だより

28年度 第1号
平成28年12月15日
(域内全戸配布予定)
事務局発行

今年度は実質的な事業始動が9月以降にずれ込んでしまいました。現在までの活動概要および今後の事業計画について報告します。

「防犯灯のLED化」各地区の防犯灯のLED化事業 : 生活安心部会

平成27年度区長経験者の代表2名の方を中心に、平成28年度の8地区区長がプロジェクトチームを立ち上げ、事業化中です。
犯罪の防止、安心、安全な街づくりを目的として、今年度は合計90基の防犯灯をLED化する事業です。平成29年度以降も「防犯灯のLED化」を継続事業として計画したいと考えています。

「木材粉砕機(ウッドチップャー)」プロジェクト報告 : 環境整備部会

平成27年度事業で「木材粉砕機」を購入し、実演講習を実施してきました。今年度からプロジェクトチームを立ち上げ、運用を開始しました。
平成28年度の使用状況: 10回
各有機栽培に興味のある方が多数、参加されました。



金山区講習会



市山区講習会

貸出について

- 1) 「湯ヶ島地区地域づくり協議会」を構成する各区、地区の団体または個人とし、協議会構成員の2名以上の連名で申請してください。(使用申請書は協議会に準備してあります)
- 2) 試用期間(平成29年3月末まで)は利用推進期間とし機械は無償で貸出します。
詳細については「運用マニュアル」、「点検要領書」などが準備されていますので、事務局 または地区の協議会役員にお問合せ下さい。

「情報交換基地」整備(居場所づくり) : 事務局

「立ち寄りサロン」の準備運営を兼ねて、地域交流の場所として旧湯ヶ島小学校保健室の「湯ヶ島地区地域づくり協議会の事務スペース」を毎週土曜日の午前10時から午後3時まで開放しています。(但し、年末の31日は休みとします。)
情報交換や交流の場所づくりを目指しています。
協議会メンバーが常駐していますので、お気軽にお立ち寄りください。(裏面に続く)

「地域の宝」発見計画: 市山神社の歴史(棟札より): 文学歴史部会

郷土の歴史・遺物の調査・研究の一環として取り組んだ事業です。市山神社の歴史について棟札を解説し、解説したものです。
10月13日に市山区区長に完成したパネルを引渡しました。引き続き湯ヶ島地区の他の神社についても取り組んでいきたいと考えています。

「ゆずクリーム」づくり体験会: 地域活性化部会

11月22日に市役所天城湯ヶ島支所調理実習室を会場に「ゆずクリーム作り体験会」を開催しました。
協議会では平成26年度からのプロジェクトに取り組み、今回で4回目の体験会となります。
当日は協議会役員が講師となり「竹の子あさん」の会員5名、地区内女性3名が参加し、瓶詰まで一連の作業を体験しました。

「西国三十三観音路めぐり」: 環境整備部会

昨年に引き続き11月27日に「富士の見える遊歩道整備事業」の関連企画として実施しました。
子供連れのお母さんを含め、参加者は10名でした。

「独居高齢者に対する支援」: 生活安心部会

7月10日に敷地内の草刈りを主体とした奉仕作業を行いました。昨年度からの継続事業で、区域内回覧で希望を取り、実施しました。支援対象者: 4名、対象地区: 大滝区、持越区、茅野区、西平区

平成29年1月以降の実施予定の事業計画のご案内

1. 「ゆがしま村かなやま七坑」の平成28年度第1回現地見学会: (文学歴史部会)
約400年の江戸時代の金山遺構の現地見学・説明会です。
詳細内容については、別途回覧: 「湯ヶ島地区地域づくり学習会」のご案内を参照ください。
2. 「古写真の常設展示」: (文学歴史部会)
「昭和10年代の湯ヶ島地区の古写真」を土曜日の「立ち寄りサロン」開設に合わせて常設展示することを計画しています。

*地域には多くの宝が眠っています。これらを有効な資源として活用して行きましょう。

45

○西伊豆地区地域づくりレター

西豆 地区

地域づくりレター

一人一人が
地域の主人公 *-COOL Sizu-*

新春号 No.10
平成29年1月1日
【編集発行】
西豆地区地域づくり
協議会 広報部会

謹賀新年

明けましておめでとうございます

～新年のご挨拶～




新年あけましておめでとうございます。
西豆地域づくり協議会の活動も地域の皆さん方のご理解とご支援のもと3回目のお正月を迎える事が出来ました。心よりお礼申し上げます。
昨年を振り返ると、国道周辺の遊休農地の荒いっばい活動では茶の花や向日葵を咲かせ、地域や地元以外の人々の目を惹きつける事が定着してきました。
また、統合解体された南小跡地には地元の大勢の皆さんにご協力いただいて芝生を植栽し、緑に覆われた中でにぎやかな住民参加の「西豆邑まつり」を開催する事もできました。
同時に、地域の安全の為に各種対応策を考えてきたところです。
まだそれほど力はありませんが、私たち協議会を構成するメンバーを中心に、今年も地域の為に活動を見守らせていきたいと思っております。
地域の皆様のご多幸と新年をがら引き継ぎのご支援をお願いし、新年のご挨拶いたします。

西豆地区地域づくり協議会 会長 永岡 正人

名称決定!

旧土肥南小学校跡地名
『南小記念広場』

11月13日に開催された第3回西豆邑まつり会場で、(旧)土肥南小学校跡地の名称を募集しました。八木沢地区や小下田地区に加え地区外の18名の方から22名の応募がありました。
この応募の中から12月の地域づくり協議会役員会の席で審査をおこなった結果、上野区の関カツ代さんが応募した「南小記念広場」が正式名称に選ばれました。南小学校にいろいろな思い出を持っている卒業生や地域の皆さんにとって心のよりどころとも言える大切な場所なので、全面芝生化されて綺麗になったこの場所を、八木沢・小下田地域コミュニティの場として大切に守っていききたいと思っております。

地域住民が交流

『第3回 西豆邑まつり』

11月13日(日)、芝生広場に整備されたグラウンドで「第3回 西豆邑まつり」を開催しました。当日は天候にも恵まれ、多くの方がまつりに参加し、秋の一日を楽しく過ごしました。各種団体の皆様、ご協力ありがとうございました。












●みんなで楽しく健康体操

●青空の下、芝生の上でフラダンス

●種投げ、たくさんとるぞー!!

●丸いボールを目標にして、スィー!!

●今年も好評! しし餅、お洋餅

●天気の良い日、気持ちいいね

●子どもたちに人気の交通安全コーナー

●フィナーレの嵐山から投げ餅

編集後記

新年おめでとうございます。地域のHOTOな話題をお寄せください! 本年もよろしくお願ひします。
広報部 松本 卓也
吉田 凡子



みんな楽しく遊ぼう!

お知らせ

■体育館で遊ぼう④
土肥南小プロジェクト
日時 一月二十八日(土)
十時~十二時
場所 土肥南体育館
対象 土肥地区在住の
幼児・小学生
内容 ストラクアット
キックターゲット
段ボール迷路
カフェスペース
駄菓子スペース
みんなで楽しく遊ぼう!

自治体名	伊豆市	課 名	都市計画課
年度		連絡先	0558-88-3580
件名	千葉大学院生によるフィールドワーク in 伊豆市		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他 ()		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力 (共催、後援、協議会等) ・ その他 ()		
対象	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他 ()		
他地方公共団体との連携	あり (連携先:) ・ なし		
目的・事業概要	定住促進を目指すために、将来計画と合わせたまちの魅力向上につながるプロジェクト (具体事業) が重要である。 そこで今回、都市計画の検討委員会を務める千葉大学大学院の秋田先生の協力を得て、千葉大学院生による伊豆市フィールドワークを行い、都市-農村再生 (地方創生) に向けた具体的な提案を行った。		
効果やポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市-農村再生 (地方創生) に向けた個別具体事業、企画立案の参考とする。 ・ 市がリストアップした複数の案から、大学院生が選択肢し、実現に向けたフィールドワーク、提案。 ・ 現地視察や市職員、専門家、地域住民との協働により、提案を作成。 		
経済的効果	不明 (提案のみのため)		
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提案された事業の実施に向けた検討。 ・ 提案を基に具体事業と企画立案していく。 		
図・写真	別紙のとおり		

千葉大学大学院フィールドワーク in 伊豆市 概要

1. 目的

「伊豆市の新しい都市計画」を検討する中で、定住促進を目指すためには、まちの魅力向上につながるプロジェクトが重要であると指摘された。そこで今回、千葉大学大学院の秋田先生の協力を得て、千葉大学の学生・大学院生による伊豆市フィールドワークを行い、都市の再生（地方創生）に向けた具体的な提案を検討したものである。

2. 参加者

千葉大学大学院開学研究科「土地利用管理論」を受講する学生を中心に、千葉大学大学院博士前期課程1名、博士前期課程17名（うち中国からの留学生5名）、学部生2名が参加。

チューター：(株)都市環境研究所、(公社)都市計画協会、(株)地域まちづくり研究所、伊豆市 土地政策室

事務局：伊豆市都市政策室

3. 日時

平成 26 年 11 月 28 日（金）～30 日（日）の 2 泊 3 日で開催。各駅に分かれ、1～2 日目にかけて現地調査やヒアリングを行い、2 日目 15:00～中間発表を経て、3 日目 15:00～市長・市民・市議・マスコミの前で最終発表を実施。

班	各班のテーマ	ヒアリング先
1	魅力ある街かど創生プロジェクト	IZU ジオパーク（レンタサイクル）、NPO 法人修善寺総合研究所
2	文教ガーデンシティ創生プロジェクト	学校教育委員、一般住民（子育て世代）
3	木の賑わいセンター創生プロジェクト	伊豆市中伊豆支所、かたつむり（体験型カフェ）
4	都市景観・農村景観でブランド創生プロジェクト	花ことば工房（カリグラフィアー・書家）、二石庵（甘味処）
5	快適な市役所周辺ビジュアル創生プロジェクト	伊豆市地域づくり課、伊豆市財務課、熊いんスタグ（建設業）
6	外国人観光客の魅力向上創生プロジェクト	伊豆市観光協会、伊豆市観光交流課、ライオナルスボーンツセンター（伊豆ペロドコーム）



花ことば工房へのヒアリング



チーム内でブレインストーミング



市長を交えたの最終発表会



花ことば工房へのヒアリング



チューターを交えたの議論



最終発表会における会場からの質問

4. 提案内容

伊豆のパン屋さん

対象地の課題

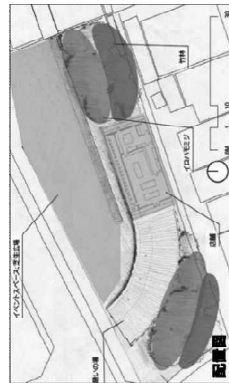
・交通の拠点（鉄道・バス・タクシー）である一方で、駅前商店街が機能おらず、賑わっていない。

・**提案の概要** 観光客・地元住民の両方をターゲットにしたパン屋さん。車の横に賑わうことができる場所が必要である。一般的に賑わう場所として食べ歩きが適している。原価率が小さく、食事もおやつでも幅広い時間帯に利用できる。原付も多岐（伊豆の物産品を活用可能）等。

・修善寺駅西側の空き地を対象にパン屋を設計する。設計にあたっては、オートプランスベース（普段は駅利用者や観光客の憩いの場であり、イベント時には商店街や地元住民が活動を行う場）、視線が道路へ向くようならパン屋の設計、修善寺駅との一体感（電車を下車して見える景色に配慮）の3点に留意。

市長コメント

・対象地は重要な場所であることから、将来この土地を活用する際にぜひ参考にさせていただきたい。



文教ガーデンシティプロジェクト ～だんだんガーデンシティ～

対象地の課題

・中学校施設敷地の一部と日向地区・加藤地区南部は住宅地として計画されているが、一部土流危険区域に指定され、安全性が危惧。また、南北方向にかなりの高低差あり。

・**提案の概要** 子育て世代が定住しなくなるガーデンシティ。両側から車道に向かって高くなっている既存の地形を活用し、地蔵のシンボルとしての中学校と修善寺の新たな景観づくりを目指す。

⇒地区の東側に中学校及び子ども園、中心に住宅地、西側にハイパードックを配置。さらに中学校と子ども園の間には伊豆のゆずであるわさび畑を地形にあわせて、ワサビ田だんだんパークを配置

・新設する中学校については、伊豆市の豊富な木材を活用した低層の校舎とす。目的の地形に合わせ、景観とす。

市長コメント

⇒既存の地形を活かすことで造成費を抑えるとともに、安全性も向上。だんだんを活用するというのはとても良いアイデア。

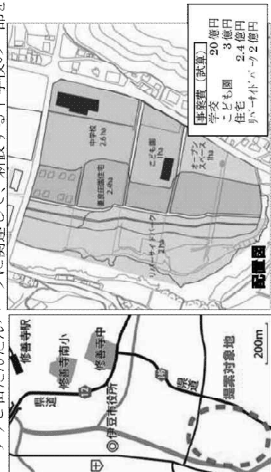
・ワサビ田だんだんパークに別途して、新設する中学校の一部を教育農園にしたらどうかと考えている。



本校も活用したいイメージ



神野川から見たイメージ



配置図

① 魅力ある街かど創生プロジェクト

② 文教ガーデンシティ創生プロジェクト

